



【不成立】シンガポール投資会社のアスリード・キャピタル、富士興産<5009>に子会社化を視野にTOBを実施



シンガポール投資会社のアスリード・キャピタルは28日、石油販売会社の富士興産に対してTOB（株式公開買い付け）を始めた。既保有分（約16.8%）を含めて全株式の取得を目指しており、買付代金は最大82億9475万円。買付予定数の下限は40%に設定している。アスリードは「中長期的な企業価値の向上のためにも非公開化が必要」としている。富士興産はTOBについて同社取締役会の賛同を得て実施されたものではないとしたうえで今後、速やかに賛成か反対かなどの見解を公表するとしている。

買付主体はアスリード・キャピタル傘下の2つの投資ファンド。買付価格は1株につき1250円。TOB開始前日の終値1111円に対して12.51%高い水準。買付予定数は663万5803株で、下限は所有割合23.25%にあたる185万3100株。

アスリードは昨年8月、富士興産株の5%超の保有が明らかになり、この当時の富士興産の株価は400円台だった。

買付期間は4月28日～6月14日。公開買付代理人は三田証券（復代理人はマネックス証券）。決済の開始日は6月21日。